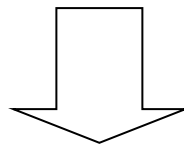


	育てたい力	具体的な授業改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・経験したことや感じたことを思い出し、説明すること。 ・話を集中して聞き、応答すること。 ・平仮名、片仮名で書かれた単語や漢字を正しく読んだり書いたりすること。 ・特殊音節を正しく読んだり書いたりすること。 ・リズムのある短い文章を音読すること。 ・教科書の物語や説明文を読むこと。 ・適切な助詞を使い短い文章を書くこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・トーキングゲームやスピーチを行い、経験したことなどを話す機会を設け、説明できるようにする。 ・適時確認したり、問いかけたりすることで、話を集中して聞き、応答できるようにする。 ・繰り返し学習する機会や個に応じた課題に取り組みせることで、文字を正しく読んだり書いたりできるようにする。 ・個に応じて課題を調整することで文の音読ができるようにする。 ・ワークシートを用いながら叙述や問いなどに注目させ、物語や説明文の読解を行えるようにする。 ・身近な場面絵を見て、質問することで言葉を想起させ、適切な助詞を使ってつなぎ文を書けるようにする。
生活単元	<ul style="list-style-type: none"> ・社会の仕組みや公共施設、生命・自然に体験的な活動や実験・観察、調べ学習を通して触れ、社会的なものの見方や理科的なものの見方の素地を養うこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見学・体験をしたり、主体的に調査したことをまとめたりする活動を通して、社会の仕組みや公共施設に関心を持ち、気付いたことや分かったことを表現していけるようにする。 ・実験や観察を通して、生命や自然の変化やものの仕組みや働きに関心を持ち、気付いたことや分かったことを表現していけるようにする。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・10進位取り記数法を理解すること。 ・計算の意味を理解し、これらができるようにすること。 ・基本的な図形について、操作的な活動を通してその特徴を理解すること。 ・身の回りにおける具体物の量の大きさに違いに気付く、測定を行うことを通して、長さや体積など量の単位を理解すること。 ・時間や金銭について理解し、日常生活で活かすための素地を養うこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・繰り返し10がいくつ、1がいくつという捉え方をさせ、10進位取り記数法を理解できるようにする。 ・半具体物を操作したり、計算の手順を示しスモールステップで取り組みせたりすることで、正確に計算できるようにする。 ・具体物を操作したり、比べたりしながら図形の特徴を理解できるようにする。 ・操作的な活動を多く取り入れ、興味をもって測定することを通して、量の大きさを数字で表すための単位を理解することができるようにする。 ・生活に沿って考えさせたり、具体物を操作させたりすることを通して、時間や金銭に対する理解を深めていく。
体育	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の大体を知り、友達と楽しく運動すること。 ・運動の基本的な動きに楽しみながら取り組むこと。 ・決まりを守り、安全に留意して運動をすること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の流れを個別に説明したり、友達の動きに倣って動けるよう言葉がけしたりして、楽しく運動できるようにする。 ・実態に応じて課題を調整し、体を動かす楽しさを実感できるようにする。 ・活動の前に危険な行動について具体的に説明することで、安全に留意して運動できるようにする。
道徳	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の気持ちの変化に気付くこと。 ・登場人物の気持ちや行動の変化について、友達の考えを聞きながら、自分の考えをもつこと。 ・登場人物の行動や気持ちの変化について、自分の思いや考えをもち表現すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・読み物教材では児童の生活経験に即して例をあげて考えさせる。 ・表情カードや選択肢、ワークシートを用いることで、自分の思いや考えを表現できるようにする。 ・ロールプレイや発表などの活動により、考えを共有できる場面を仕組んでいく。

総合	<ul style="list-style-type: none"> ・興味がある内容を自分で選び、調べること。 ・友達と一緒に学習に参加すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動を通して得た気付きや知識を本や電子黒板・タブレットなどの視覚資料を用いて深めることで、学習内容に興味をもたせ、すすんで学びたいことを選び、友達と一緒に学習していけるようにする。
図工	<ul style="list-style-type: none"> ・造形活動を楽しみ、手や体全体の感覚や技能などを働かせ材料や用具を用いて表現すること。 ・道具や材料を適切に使い、安全に留意して造形活動を行うこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・完成のイメージを共有し、作業の順番を項目立てて説明することで、造形活動を楽しみながら表現できるようにする。 ・材料や道具の使い方の手本を示してから取りまわせることで、安全に造形活動をできるようにする。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽に関わり、楽しさを味わうこと。 ・音楽表現に必要な歌唱、楽器演奏、鑑賞にすすんで取り組むこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実態や場面に応じて教員と一緒に活動をすることで音楽に関わり楽しさを味わえるようにする。 ・実態に合わせて個に応じた支援をすることで、音楽表現に必要な歌唱、楽器演奏及び鑑賞にすすんで取り組んでいけるようにする。
外国語活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲームに楽しく参加しながら、英語に親しむこと。 ・英語の身近な表現に慣れ親しむこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲームのルールを確かめ個別に言葉がけすることで、楽しく参加できるようにする。 ・ゲームに楽しみながら参加することを通して、身近な表現に慣れ親しむことができるようにする。
学級経営	<ul style="list-style-type: none"> ・交流学級で多様な経験を積むことにより、自己肯定感を高め、主体的に学校生活を送る姿勢とクラスや学年への所属意識を高めていくこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日直や係、当番活動などに取り組むことで、クラスでの一員として自覚をもたせ所属意識と貢献意識を高めていけるようにする。 ・見通しをもたせることで自信をもって様々な活動に参加し、主体的に学校生活を送る姿勢を身に付けていけるようにする。



	成果○ と 課題▼
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○学習活動を工夫したり、ワークシートを使用したりすることで教科書の文章に親しみ、意欲的に取り組むことができた。 ○確認や問いかけを意図的に繰り返していくことで、集中して話を聞く力を培うことができた。 ▼読む力や書く力を系統的に養っていくことを十分に取組みなかつたので、系統を考えた上で、個別最適な課題を提示できるようにしていく。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ○社会科見学をはじめとした具体的な体験により、意欲的に学習に向き合うことができた。 ○交流学級担任と連携し学習活動の量を精選することで負担を軽減しすることで、落ち着いて交流級で学習に取り組めた。 ▼知識の習得の部分で難しい部分があった。実態に応じて習得させる知識を精選していく。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ○ICT教材のゲームを使用することで、楽しみながら数概念を取得ができた。 ○具体物や半具体物を使用することで、スモールステップで数や図形、量などの概念を積み上げることができた。 ▼直観的な概念形成を促せるように、教材・教具を工夫していく。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ○交流学級担任と連携し、学習課題を調整する事で負担を軽減することができた。楽しみながら安全に実験に取り組んだり観察したりすることができた。 ▼実験や観察を通して理科的事象を捉えることができた一方で、なぜそうなるのかという考察をすることが難しかったので選択肢を用意し選ばせることで結果をもとに考えられるようにしていく。

<p>体 育</p>	<p>○楽しみながら意欲的にいろいろな運動に取り組むことができた。 ○交流学級担任と連携しチーム編成に配慮したり、ルールを工夫したりすることで楽しみながらゲームに取り組むことができた。 ▼実態によって取り組むことが難しい運動もあった。個に応じて運動につながる基礎的な動きに挑戦させていく。</p>
<p>道 徳</p>	<p>○プレゼンテーションソフトやペープサートを用いることで、題材に興味をもつことができた。 ○表情カードや選択肢を用意し選択させることにより、自身の思いを表出することができた。 ▼自身の考えを適切な言葉で伝えることが難しかったため、コミュニケーションボードなどを用意して思いや考えを伝えられるようにしていく。</p>
<p>総 合</p>	<p>○交流級の友達と協力しながら、調べ学習をしたり発表をしたりすることができた。 ▼すすんで学びたいことを選ぶことが難しい児童もいた。実態に合わせて資料を工夫できるようにする。</p>
<p>図 工</p>	<p>○個に応じた支援を行うことで、適切に道具を使い作品を完成させることができた。 ○対話を通して、作りたいものや表したいものを具体的にすることができた。 ▼作りたいもののイメージを持つことが難しい児童もいた。実態に応じた支援の下、できることを精選し活動に取り組みせるようにしていく。</p>
<p>音 楽</p>	<p>○専科教員と協力し支援の手立てを明確にすることで、意欲的に学習に取り組んだ。 ▼リコーダーの運指が難しかった。スモールステップで、個に応じた達成目標を設定していくようにする。</p>
<p>外 国 語</p>	<p>○楽しみながら外国語の歌やいろいろなゲームに取り組むことができた。 ▼発語が現時点では未発達であり、言語によるコミュニケーションが難しい児童もいた。ジェスチャーやカードなどをつかいコミュニケーションできるようにしていく。</p>
<p>学 級 経 営</p>	<p>○落ち着いて学校生活を送り、交流学級で日直や係、当番活動などに取り組みクラスの一員として貢献することができた。 ▼教員や支援員に適切な援助要求をすることが難しかった。困りごとを教員や支援員に伝えられるように言葉かけをしていく。</p>